

※子ども医療費助成

中学校卒業までの子どもに係る医療保険の自己負担分の一部を市が助成した額

※生活扶助費給付事業

生活保護法に基づく生活保護世帯へ給付した額

決算特別委員会の審査

平成25年度一般会計決算は不認定となりました。国民健康保険特別会計決算をはじめとするそのほかの特別会計決算は、原案のとおり認定されました。

決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

一般会計

歳入関係

質疑 財政指標の悪化がみられる。指摘した部分の改善がない。なぜか。

答弁 借り入れの状況でプライマリーバランスが変化します。今後の財政をみます。

質疑 合併特例事業債の交付税算入率は、25割前後となっている。不要不急の事業は見直すべき。

答弁 各事業とも必要性を判断し、見直し等をして対応しています。

質疑 住宅使用料、入居状況と待機者の理由を。

答弁 半田住宅は100割、金島住宅は85割です。待機

の理由は利便性の良い所を希望しているものです。

質疑 学童保育所の電気・水道使用料の内訳を。

答弁 8クラブの負担金です。メーターのないクラブは国の基準に基づき算定し負担していただいています。

質疑 市税の収納率については、平成24年度決算と比較して25年度の対策は。

答弁 時差出勤、夜間催告、夜間訪問等を実施し、収入未済の減少等の効果がありました。

質疑 ヤフーの公金決済等新しい収納方法の検討は。

答弁 現在研究しています。経費の問題もあり、条件があれば新規のみ検討したい。

総務費・消防費・予備費
質疑 防災無線の個別受信

機設置は。到達度調査は。
答弁 順次進めています。音達調査は現工事費の中へ含めてあります。

質疑 病院再編統合事業の今後の負担額は。

答弁 23億円の議決をいただいています。この範囲で行います。

質疑 町名表示実施事業の経過と結論は。

答弁 地元推進委員会の回答等により、事業実施は困難となりました。

質疑 豪雪対策の初動のあり方、判断等指揮命令に問題あり、考え方を。

答弁 初動のあり方等反省し、今後検討したい。

質疑 市民ゴルフ場支援事業の市としての考え方は。



利用が望まれる市民ゴルフ場

一般会計 主な使い道

土木費

上信自動車道関連事業
56,286,244円
道路・橋りょう整備事業
(赤城町敷島～中郷間)
78,960,000円



教育費

小中学校施設耐震補強事業
66,441,900円
(仮称)北橋運動場整備事業
165,579,580円



民生費

※ 子ども医療費助成
262,183,507円
※ 生活扶助費給付事業
812,172,006円



商工費

※ 緊急経済活性化対策事業
10,000,000円
観光PR推進事業
18,950,000円



消防費

防災行政無線デジタル化事業
209,805,100円
消防ポンプ車購入事業(1台更新)
20,126,647円



農林水産業費

選別農薬農法推進事業
2,779,140円
有害鳥獣駆除対策事業
13,610,020円



衛生費

住宅用太陽光発電システム
設置助成事業
35,952,000円
感染症予防事業
113,072,646円



総務費

※ 豪雪災害対策支援事業
10,098,883円
病院再編統合事業
2,615,892円



※緊急経済活性化対策事業

商工会議所・商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業に対する補助金

※豪雪災害対策支援事業

2月14・15日の豪雪に伴い自治会が自主的に行った除雪作業に対する補助金

【答弁】 あり方委員会を設置し検討していますが、課題等も多く、結論は出ていません。

民生費・衛生費

【質疑】 資源ごみ回収事業報償費減額の理由は。

【答弁】 新聞等発行の減少化ペーパーレス化等、他市においても同じ状況にあります。

【質疑】 じん芥処理事業市指定ごみ袋の単価の決定は、条例・要綱に基づくのか。
【答弁】 要綱に基づいています。

農林費・商工費・土木費

【質疑】 買物弱者支援事業の実績は。

【答弁】 集客・売り上げが少ない。地域ニーズを調査し実施します。

【質疑】 道路等自治会要望の取り扱いは。

【答弁】 緊急性の高いものから予算をつけ実施している。

今後は、公平性に配慮し組織改革に併せて善処する。

【質疑】 道路維持管理事業の除雪費用は不明確なものが多い。監査委員の指摘をどう考えるか。

【答弁】 災害発生等については、初期対応が必要なことから競争原理になじまないものがあります。監査の指摘も含めて今後考えていきたい。

【質疑】 農地・水保全管理支払交付金の対象地区が減っている原因は。

【答弁】 組織の事務量が多く制約もあり減少しました。

【質疑】 スカイテルメバーデプールの今後の方針は。

【答弁】 天井すべて改修が必要で多額の費用がかかる。

今年度中に結論を出す予定。

【質疑】 まちなかイルミネーション事業の今後は。

【答弁】 県補助金を活用し、商店街連合会と連携し、駅前商店街で拡大実施したい。

教育費



買物弱者支援による移動販売

【質疑】 食物アレルギーの取り組み状況は。

【答弁】 研修会を年2回実施、アレルギー室もあるので臨時栄養士の採用を進めたい。

【質疑】 学校給食共同調理場再編整備事業東部地区繰り延べは、いつ決定したのか。

【答弁】 平成26年度予算査定の中、施設の老朽化や空調等工事に配慮し決定した。

【質疑】 旧伊香保町の寄贈された本を利用する予定は。

【答弁】 整理中ですが、市民に公開していきたい。

特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計

【質疑】 歳入のうち不納欠損額が過去最大になった理由。

【答弁】 20年のリーマンショックで生活困窮が増加しました。

【質疑】 病院事業会計

【質疑】 平成27年度総合病院経営の考え方は。

【答弁】 医師の確保、連携、勉強会等を実施し、地域の医療と市民の命を守っていききたい。

平成25年度各会計決算総括表

(単位 千円)

会計名		歳入額	歳出額	差引残額	
一般会計		38,369,107	36,109,916	2,259,191	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	10,399,492	9,931,373	468,119
		(診療施設勘定)	143,201	143,201	0
	後期高齢者医療	928,509	925,064	3,445	
	介護保険	7,314,514	7,230,141	84,373	
	特別養護老人ホーム事業	342,126	342,126	0	
	農産物直売事業	9,965	8,361	1,604	
	伊香保温泉観光施設事業	84,642	84,642	0	
	小野上温泉事業	37,173	37,173	0	
	交流促進センター事業	10,834	10,813	21	
	下水道事業	2,053,456	2,042,696	10,760	
	農業集落排水事業	1,363,954	1,361,406	2,548	
	個別排水処理事業	29,841	29,841	0	
	簡易水道事業	218,277	215,095	3,182	
企業会計	水道事業	収益的	1,699,164	1,580,738	118,426
		資本的	95,095	701,144	▲ 606,049
	病院事業	収益的	1,471,085	1,714,760	▲ 243,675
		資本的	193,609	193,692	▲ 83